

市町村合併についての見解はいかに

山田町長／問題点を見極めた上で考えるべき



楽しくプレーする体育協会グラウンドゴルフ部のみなさん（総合グラウンド）

塩 平成の大合併も一応の終局を迎えつつあると思われませんが、国は地方交付税交付金の交付水準を10年に延長して維持するなど、市町村合併を後押ししています。当双葉地方でも、一部そのような話題はあるにしても、具体的な動きは無いように見受けられます。私は、自分たちの将来は自分達の手で決めるのが第一と考えますが、どうですか。

町長 合併によって新しく生まれた自治体はどう変わり、どういう問題が生じているかなど、よく見極めた上で考えるべきだと思います。いずれにしても、地方自治は、そこに住む住民の意思によって行うのが基本であり、市町村合併も例外ではないと考えています。



塩 史子 議員

「食育」に取り組んでいるか

山田町長／食育に関する事業を展開している



はつらつ寺子屋（保健センター食育事業）

塩 子どもが引き起こす衝動的な事件が社会問題となり、いじめや不登校、学級崩壊や学力低下など、学校や教育をめぐる問題が後を絶ちません。これらの一因として、「食」の問題が関係しているのではないかと国も豊かな個性を育むことができよう、平成17年に食育基本法を制定し、「食育」を国民運動として推進しています。

町長 学校では、毎月「給食だより」に朝食の重要性、栄養バランスなどを紹介する内容を掲載し、児童・生徒に「食育」に関する理解と関心を高めるための取り組みに努めています。また、保健センターでは、5～6歳児を対象とした「親子クッキング教室」、小学4年生や中学1～2年生を対象とした「調理実習」を行い、食育を推進しています。さらに、食生活改善推進協議会では、地区子ども会を対象とした「おやこの食育教室」や幼稚園児とその保護者に対する食育啓発運動を展開しています。

特色ある学校にすべきではないか

芦川教育長／公立学校ゆえの制約はあるが努力したい

新妻 学業やスポーツにすぐれるなど特色ある学校にすれば、他町村に住む方々も、わが子を通わせたいと思うようになり、転入する一つのきっかけにもなるかと考えます。そのためには、さらなる取り組みが必要であり、それが優秀な人材の育成と人口の増加につながるものと考えますが、どうですか。

教育長 幼稚園における基本生活習慣の確立と小学校における基礎・基本学習の確実な定着、中学校における確かな学力等を縦系とし、幼稚園における英語教育など、また、児童・生徒を含めたスポーツの向上を図るため、元プロサッカー選手、元長距離選手などによる指導講習会等の開催を横系として、織り込みたいと考えています。

人口を増やして「活気ある町づくり」を

山田町長／産業の育成や都市との地域間交流を進める

町長 町の特性にあった産業の育成や都市との地域間交流を進めるなど、本町の恵まれた自然環境、温暖な気候風土を生かした新たな定住に向けた条件整備が必要です。

住宅地の整備が必要ではないか

山田町長／小規模宅地造成などを検討したい

新妻 人口を増加させるためには、大規模なものではなく、家庭菜園つきとか、学校に近い、または緑に囲まれた田園住宅など、多様な生活様式に合わせた安価な住宅地を提供する必要があるのではないかと。

町長 従来型の大規模宅地造成だけでなく、町の遊休地を活用した小規模宅地造成などを検討したい。



町が所有する遊休地（上浅見川字沢目）



新妻 良平 議員

新妻 広野町の人口は、平成12年の5,813人をピークに年々減少傾向にありますが、「活気のある町」にするためには人口の増加が第1条件と考えます。人が多ければ消費も増え、商店街の活性化はもとより、税収も見込めます。この人口減少に歯止めをかけ、増加に転じるための対策を考えていますか。



学舎をあとにする卒業生（広野中学校）